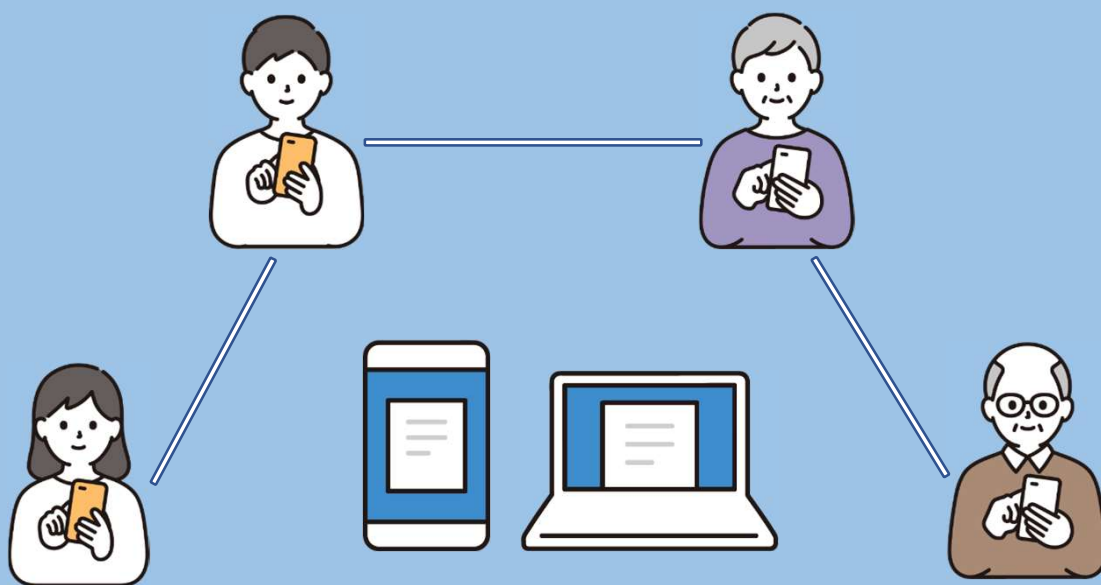


はじめての 自治会回覧デジタル化

事例からみるヒントと工夫



目次

01	はじめに	… P 2
	(1) はじめに	
	(2) 持続可能な自治会活動へ	
02	市回覧文書のデータ等の提供について	… P 4
03	回覧のデジタル化 導入の流れ	… P 6
	STEP 1 導入の検討	
	STEP 2 ツールの検討	
	STEP 3 自治会の体制づくりと運用の準備	
	STEP 4 会員への周知	
	STEP 5 運用開始後の検討	
04	自治会活動に活用可能なデジタルツール例	… P 8
05	自治会回覧デジタル化事例	… P 9
06	デジタル化お役立ち情報	… P18



01 はじめに

(1) はじめに

持続可能な自治会活動のために

少子高齢化や価値観の多様化、情報技術の急速な進歩により、私たちの生活や社会のあり方は大きく変わっています。身近な地域においては、災害リスクへの対策や、高齢者・子どもの見守り、居場所づくりなどの住民ニーズがある一方で、地域コミュニティの中心的な存在である自治会は、加入率の低下や担い手不足という状況に直面しています。

自治会を持続可能なものにするためには、現代の社会に合わせた取り組みが求められます。地域内外の団体や人を巻き込む参画と協働、役員の負担軽減、活動内容の見直しや魅力向上など、さまざまな方向性があるなかで、有効な手段の一つとなるのが、「自治会活動のデジタル化」です。

回覧のデジタル化で、情報をいつでも・早く・簡単に

市内の自治会等へのアンケートなどにおいても、自治会活動のうち、特に回覧については、デジタル化を望む声が寄せられるなか、市では令和5年11月より回覧文書のオンライン化に向けたモデル事業を実施してきました。その成果を踏まえ、令和8年7月から、各自治会が地域の実情や希望に応じて活用を検討できるよう、全自治会を対象に市の回覧文書について、従来からの紙文書郵送に加えて、PDFファイル等データでの提供を開始します。

そこで本冊子では、回覧を中心とした自治会活動のデジタル化に関する情報や、導入を検討する際の流れなどをまとめました。また、市の回覧文書をPDFファイル等データで提供することについての詳細のほか、実際に明石市内の自治会で回覧のデジタル化に取り組んでいる事例を紹介しています。

各自治会の状況はさまざまですが、今後の自治会活動を考える際の参考となれば幸いです。



(2) 持続可能な自治会活動へ



- ☑ 自治会加入率は全国的に低下傾向にあり、地域共通の課題
- ☑ 加入率が低いと役員のなり手が不足し、役員の固定化・高齢化が進む
- ☑ 加入しない理由は「仕事や子育てで忙しい」「役員が回ってくるのが負担」「活動内容が不明で必要性を感じない」といったものが多い

持続可能な自治会活動のために

参画と協働

地域内外の多様な人や団体を巻き込む



役員負担軽減

運営体制の見直しや活動の効率化など



見える化・情報発信

積極的でオープンな広報活動など



活動の魅力向上

アンケートでの意見収集や新しい取り組みなど



きっかけづくり

参加しやすいイベント、ご近所での声かけなど



いろいろな取り組みの基底にデジタル化の活用が有効

デジタルの活用

02 市回覧文書のデータ等の提供について

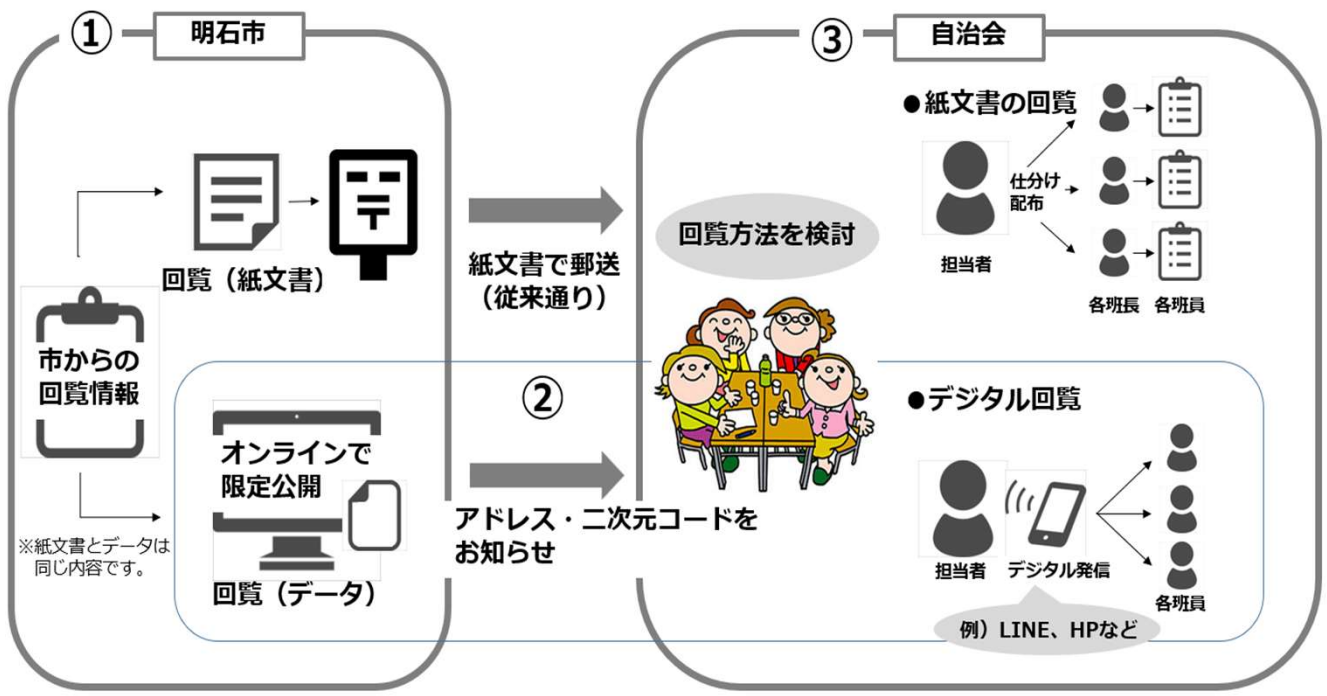
市からの回覧文書を、PDFファイル等で月別に自治会専用ウェブページへ掲載しています。パソコンまたはスマートフォンでアクセスし、閲覧またはダウンロードなど自由にご活用いただけます。

💡 ポイント

- ☑ 回覧文書をPDFファイル等で**自治会専用ウェブページへ掲載**します。
(従来どおり**紙文書も郵送**)
- ☑ 自治会専用ウェブページは、アドレスを直接入力または二次元コードからのみアクセス可能です。
- ☑ PDFファイル等の回覧文書を利用するかどうか、また、どのように利用するかについては、自治会内でご検討ください。



オンライン公開のイメージ



💡 それぞれの自治会の回覧方法に合わせてご活用ください。

- 例1) 自治会ホームページやLINE等に自治会専用ウェブページへのリンクを貼る
- 例2) PDFファイル等をダウンロードし、自治会LINE等に添付して投稿する など



自治会専用ウェブページ アクセス方法

アクセス方法については
コミュニティ・生涯学習課まで
お問い合わせください。

TEL：078-918-5004

MAIL：communit@city.akashi.lg.jp



掲載内容

①月別 目次

該当月をクリックすると、その月に送付した回覧一覧のページが表示されます。

明石市 AKASHI CITY	
自治会等への回覧文書	
件名	
2025年11月25日 送付分	👉 該当月をクリック
2025年10月21日 送付分	
2025年09月22日 送付分	
2025年08月19日 送付分	
2025年07月22日 送付分	

②回覧一覧 目次

回覧が種類別で表示されますので
見たい項目をクリックしてください。

- ・全自治会向け (PDF)
- ・全自治会向け (ウェブページヘルリンク)
- ・一部自治会向け (PDF)

明石市 AKASHI CITY	
自治会等への回覧文書	
🏠 > 2025年11月25日 送付分	
全自治会向け回覧 (PDF)	対象自治会
【全自治会向け】11月25日送付分回覧 (4件) .pdf	全自治会
全自治会向け回覧 (ウェブページヘルリンク)	対象自治会
コミセン情報紙の回覧について	全自治会 (中学校区別)
一部自治会向け回覧 (PDF)	対象自治会

03 回覧のデジタル化 導入の流れ

POINT



従来のコミュニケーションも 大切にした柔軟な姿勢

顔の見えるコミュニケーションの大切さは変わりません。「すべてデジタル化」ではなく、役員の負担軽減や自治会運営の効率化のために、「選択肢を増やす」という柔軟な姿勢でご検討ください。

デジタルが苦手な方も 参加しやすい仕組みづくり

段階的に、無理なく、理解を求めながら丁寧に導入することが、その後の利用率にも影響してきます。デジタルが苦手な人も関わっていただけるような、継続できる仕組みを目指しましょう。

STEP 1 導入の検討



自治会の現状や課題を確認



- ・現状の回覧の状況と課題の整理（例：回覧数、回覧期間、回覧で困っていることなど）
- ・役員の活動内容の整理（例：回覧にかかる作業量、デジタル化への理解度など）
- ・会員の意識・状況調査（例：会員の年齢層、スマホ利用率、LINE利用率など） など



デジタル化の目的／メリット・デメリットを整理

- ・回覧をデジタル化する場合の目的を検討（役員の負担軽減、情報の迅速性など）
- ・自治会の現状をふまえ、メリット／デメリットを整理 など



回覧のデジタル化について方向性を確認



STEP 2 ツールの検討（活用可能なデジタルツール例はP8参照）



機能を比較し、コストや管理負担、利用のしやすさなどを評価

- ・利用できる機能、費用、役員の管理負担、導入・利用のしやすさ、回覧の確認方法、セキュリティの程度 など



まずは一部（役員など）のお試し運用もおすすめ



STEP 3 自治会の体制づくりと運用の準備



自治会の体制づくり

- ・どのように運用するかイメージやスケジュール
- ・担当者の選定、役割の割り振りなど体制の検討
- ・会員への周知方法の検討 など



運用の具体的な準備

- ・お試し運用などを経て、利用ツールを決定。初期運用の準備
- ・個人情報や写真に関する取扱いのほか、運用ルールを準備
- ・デジタルが苦手な人へのフォロー体制の検討 など

【個人情報の取扱いに関する注意事項】

- ・デジタルツールを活用する際は、個人情報の漏えい等が生じないように、適切かつ安全に管理しましょう。
- (例) ・氏名や連絡先、写真などの個人情報が共有される場合は、事前に本人の同意を得る
- ・LINE等の設定や公開範囲、管理権限を確認し、ルールを共有・徹底する
- ・担当役員交代時には情報や権限を適切に引き継ぐ、不要なアカウントは定期的に削除する など

STEP 4 会員への周知



周知方法の検討、実施

- ・住民説明会、操作登録説明会の開催
- ・説明文書や二次元コードを掲載した回覧文書、個別配布などによる案内 など



目的と運用方法、注意点などを丁寧に伝え、導入をしっかりとサポート



運用開始

STEP 5 運用開始後の検討



利用者の拡大促進／未利用者へのフォロー

- ・利用者へのサポートや、未利用者への継続的な周知とフォロー
- ・トラブル時の対応
- ・利用のフィードバックを受けての運用改善 など



継続していくための体制づくり

- ・引継ぎをスムーズに行うための運用マニュアルの作成
- ・複数人担当制や担当者の後任の育成 など



04 自治会活動に活用可能なデジタルツール例



ツールの種類	概要	費用	導入しやすさ
専用アプリ	自治会専用に情報発信や連絡機能をまとめられるアプリ。 通知が届きやすく、会費の徴収やイベント管理も可能 なものもある。ただし 運用コストが発生 し、利用者は アプリのインストールが必要 となる。例) yumikommu、結ネットなど	有料	★☆☆☆☆ 例：P11
ホームページ	自由なデザインで、行事案内や情報などを広く公開できる。 検索されやすい一方、制作・更新作業の負担が大きい 。写真管理や文章作成など、運営担当者のスキルが必要。サーバの維持管理費用なども発生する場合がある。	一部有料	★☆☆☆☆ 例：P12～
BAND (無料アプリ)	グループでのコミュニケーションに特化 した機能が充実しているサービス。メッセージ以外にも出欠確認やカレンダー、画像やファイルの共有機能がある。参加者管理もしやすい。ただし アプリのインストールが必要 で、デジタルに不慣れな人にはハードルがある。	無料	★★★★☆ 例：P14
LINE公式 アカウント	広報や一斉配信に強く 、住民が受け取りやすい。予約配信も便利。コンテンツ設定が可能で、例えば回覧や議事録を常時確認することが可能。ただし 双方向のやり取りには制限 があり、使い方によっては有料プランが必要。	一部有料	★★★★☆ 例：P15
LINE オープンチャット	LINEの 友だち追加不要 で 個人アカウントを使わずニックネーム で参加でき、 LINEグループよりもセキュリティが高い 。住民同士の情報共有に便利。ただし参加者の管理やトラブル対応は必要で、 事前のルール設定が重要 。	無料	★★★★★ 例：P16～
LINE グループ	使い慣れた人が多く導入しやすい。 役員間の連絡や小規模な情報共有 に最適。一方、人数が多い自治会では通知が多くなり混乱しやすい。また個人アカウントを利用するため、 プライバシーの面から抵抗 がある人もいる。	無料	★★★★★
その他SNS (フェイスブック、 インスタグラム等)	写真や動画で魅力的に情報発信でき、地域外にも自治会の 情報を広く届けられる 。ただし住民同士の コミュニケーションツールとしては利用しづらい 。	無料	★★★★☆

自治会回覧デジタル化事例



05 自治会回覧デジタル化事例

明石市内でも、自治会の状況に応じて、活動や回覧にデジタル化を導入している自治会があります。そのなかでも7つの自治会について、その取り組みをご紹介します。



📶 こんな自治会におすすめ

- ・ 独自機能（安否確認・自治会費の徴収等）を積極的に活用したい
- ・ 自治会活動のデジタル化を本格的に進めたい
- ・ 多少費用がかかっても便利な機能を使いたい
- ・ デジタル活用に積極的な住民が多い など



専用アプリ

P11 グランヒルズ大久保自治会

📶 こんな自治会におすすめ

- ・ 「活動の見える化」を進め、加入促進につなげたい
- ・ 住民に広く情報発信したい
- ・ 回覧だけでなく、活動事例や町の歴史、最新情報など多くの情報を掲載したい
- ・ ホームページの管理などを担当できる人がいる など



ホームページ

P12 西二見自治会

P13 浜西自治会

📶 こんな自治会におすすめ

- ・ コミュニケーションに便利な機能を、無料で利用したい
- ・ 行事予定の広報や出欠確認も行いたい
- ・ 役員会や部会など、グループ別でも利用したい
- ・ 個人情報の取扱いは最小限で導入したい など



BAND（無料アプリ）

P14 小久保1・3丁目自治会

📶 こんな自治会におすすめ

- ・ 情報発信や情報共有をメインに利用したい
- ・ 回覧や議事録をオンラインで確認したい
- ・ 高齢者にも馴染みのあるツールを使いたい
- ・ 自治会の窓口として運用したい など



LINE公式アカウント

P15 朝霧台自治会

📶 こんな自治会におすすめ

- ・ LINE公式アカウントよりも、気軽に作成・利用したい
- ・ LINEの個人アカウントを使わずに利用したい
- ・ イベント情報やお知らせをリアルタイムで共有したい
- ・ 若い世代や活動に積極的でない世帯も参加しやすくない など



LINEオープンチャット

P16 ウェステージ明石自治会

P17 立石2丁目自治会

（P15 朝霧台自治会）

01 グランヒルズ大久保自治会

校区／高丘東 加入世帯数／188世帯 回覧班／アプリで回覧



自治会に特化した専用アプリ導入率100%
会費徴収、回覧、情報共有もデジタルで効率化

利用媒体

専用アプリ (yumicom)

導入時期

2023年(自治会設立時)

導入の目的 (きっかけ)

自治会設立準備時から導入を検討

デジタル化している業務

- 会員への連絡
- 回覧
- 自治会費の徴収
- 地域のイベント情報の共有等
- ごみや清掃、資源回収など環境に関する情報の共有等
- 防災・防犯に関する情報の共有等

導入の流れ

- ・2023年、新築戸建の分譲地で自治会設立検討会を設置
地域のために自治会は必要だからこそ、**役員の負担とならず、会員がメリットを感じられるもの**として、専用アプリを検討
- ・複数の専用アプリを調べ、機能等で検討しyumicomに決定
- ・子育て世代が中心のため、案内をするだけで導入はスムーズ

導入時の工夫

- ・自治会の加入メリットとしてアピールするため、地域業者に声をかけて
自転車修理やエアコン掃除の**割引クーポンを設定**
- ・事業者が講師となり、管理をする役員向けに**操作勉強会**を実施

導入の効果

- ★**役員の負担軽減**…回覧配布、会費徴収、資料作成等の手間がない
回覧板印刷コストなし
- ★**会員の加入メリット**…割引クーポンがある、コミュニケーションがとれる
- ★**連絡機能が便利**…急ぎの連絡事項も画像付きで即配信できる
直接連絡先を知らない世帯へも連絡がとれる
- ★**生活のお知らせが充実**…ごみ回収の前日の夜に通知、スーパーの
チラシや近隣バス停の時刻表を掲載
- ★**その他効果多数**…ごみステーションに放置された違法ごみの回収を呼びかけ
災害時の安否確認機能、回覧はデジタルで全戸配信、
道路の陥没や公園の異変などを写真付きで共有 等

今後の課題

- ・アプリ利用にかかるコスト負担が大きい(年15万円程度)



02 西二見自治会

校区／二見 加入世帯数／987世帯 回覧班／130班



班の清掃や要望対応まで活動を幅広く掲載
会計や他の業務も課題解決目線で効率化



利用媒体

ホームページ、LINE公式アカウント

導入時期

2023年

導入の目的（きっかけ）

活動負担の軽減や、若い世代への情報周知のため

デジタル化している業務

- 役員間の連絡
- 会員への連絡
- 回覧
- 地域のイベント情報の共有等
- 防災・防犯に関する情報の共有等

導入時の状況

- ・自治会の**高齢化**が進んでいるなかで、若者にも自治会活動を知ってもらい、興味を持ってもらうことで、加入促進や活動参加を促したいと常々考えていた
- ・会員からも「**自治会がどんな活動をしているのか分からない**」という声があった
- ・デジタルで発信をすることで、世代や地域を超えて情報が届くようにし、広く自治会活動を知ってもらえるようにしたいと考えた

導入時の工夫

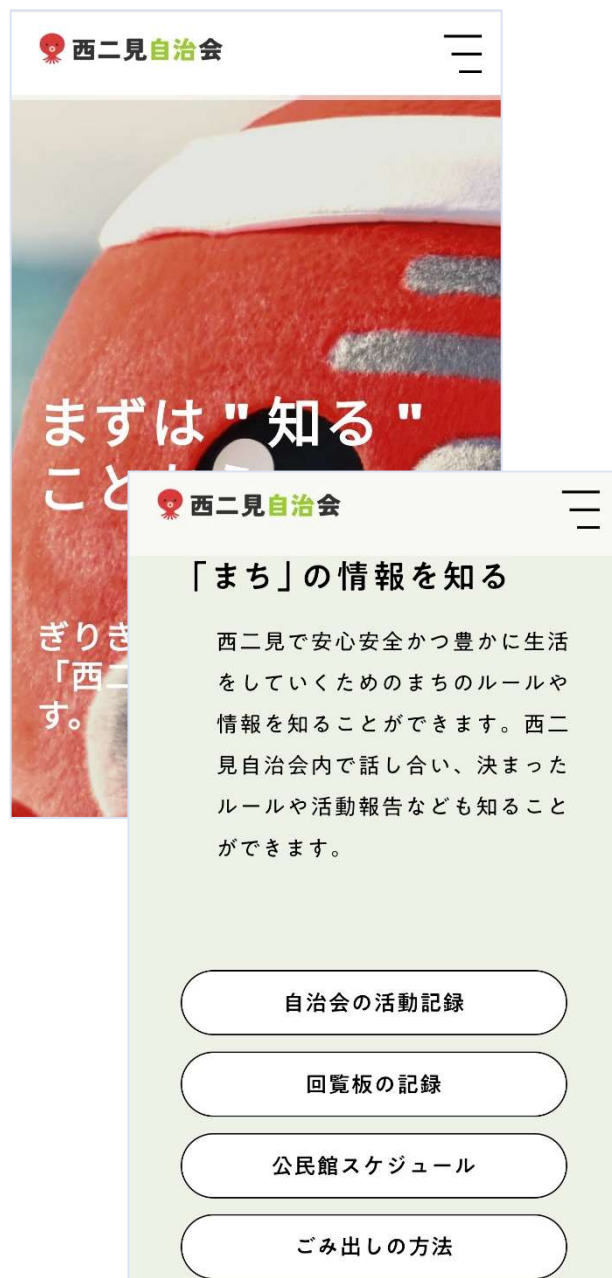
- ・ホームページを見てもらえれば自治会のことすべて分かるような、**見やすい構成、デザイン、情報量**を意識
- ・班の清掃や交通安全看板の設置、要望への対応など、**毎月の活動報告を細かく掲載**
- ・**法人会員の紹介ページ**を作成し、バナーを設置
- ・LINE公式アカウントからホームページへリンクを貼り誘導
- ・毎回の紙回覧に、LINE公式アカウントの二次元コードやホームページ情報を掲載

導入の効果

- ★自治会の認知度アップ…LINE公式アカウントやホームページを見て情報を知る人が増えた
- ★いつでも情報収集…高齢者でも共働きでも若い世代でも、いつでも情報にアクセスしやすくなった
- ★他の業務も課題解決…会計やチラシの仕分けなど他の自治会業務も同じような課題解決の視点で改善
新しく会計システムを作成し、ネットバンキングを進めるなど、会計の仕事も楽になった

今後の課題

- ・デジタル化以外でも、自治会業務の効率化を図りたい

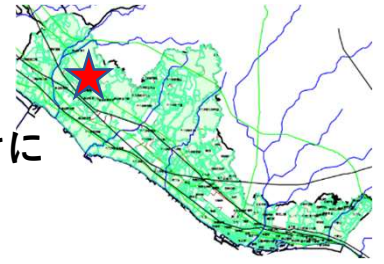


03 浜西自治会

校区／魚住 加入世帯数／1,376世帯 回覧班／135班



頻繁な更新で活動を広く知ってもらうきっかけに
交流の場を広げ、自治会のイメージアップを



利用媒体

ホームページ、LINE公式アカウント

導入時期

2023年2月ごろ

導入の目的（きっかけ）

- ・自治会内の防災マップを作成した際に業者から提案
- ・コロナ禍で、回覧に感染リスクを感じる人がいたことや、時代に合わせて若い人にも気軽に自治会イベントに参加してもらうことの必要性を感じていたため

デジタル化している業務

- 役員間の連絡
- 会員への連絡
- 回覧
- 地域のイベント情報の共有等
- 防災・防犯に関する情報の共有等

導入の流れ

- ・防災マップの作成業者の提案でホームページを立ち上げ
- ・その後自治会内でホームページ運営ができる人を探し、自治会運営とは関わりがなかったが、現在の**担当者に声をかけて協力を依頼**

導入時の工夫

- ・紙で回覧するすべてのチラシに、ホームページの**二次元コード**を掲載するなど、積極的にアピール
- ・電子回覧板やイベント情報、各種団体情報など、**更新を頻繁**に行うことで、活動している様子を伝える
- ・「まずはやってみよう」という会長の姿勢があり、**担当者が自由な発想で工夫をしたり運営**できる体制を作った
- ・高齢クラブなどには**直接出向いて**、ホームページの紹介やアクセスの仕方などを丁寧に説明

導入の効果

- ★自治会のイメージアップ…地域の様子や活発な活動が伝わりやすい
- ★交流の広がり…自治会で小さなイベントを随時開催しており、参加申し込みをホームページ限定にしたところ、管理がしやすく、毎回違う人が参加するなど、新しい交流の広がりがある
- ★内容やデザインが充実…現在の担当者になり、充実した更新を続けている

今後の課題

- ・デジタルを担当できる役員がない
- ・高齢化等で、情報へアクセスするのが難しい
- ・サーバーレンタル費用（約1,500円／月）などコスト負担がある



04 小久保1・3丁目自治会

校区／鳥羽 加入世帯数／281世帯 回覧班／30班



グループコミュニケーションアプリBANDで
回覧・予定・連絡をスマホでまとめて共有



利用媒体

BAND (無料アプリ)

導入時期

2023年

導入の目的 (きっかけ)

共働き家庭の増加など、生活スタイルの変化によって、回覧が回るのに時間がかかるようになったため

デジタル化している業務

- ☑役員間の連絡
- ☑会員への連絡
- ☑回覧
- ☑会議議事録等のオンライン公開、共有
- ☑地域のイベント情報の共有等
- ☑ごみや清掃、資源回収など環境に関する情報の共有等
- ☑防災・防犯に関する情報の共有等

導入の流れ

- 2021年 役員会で回覧のデジタル化を検討
→有料の回覧専用アプリも検討したが、初期投資だけでなくランニングコストも発生するので無料アプリを導入する方向で検討
- 2022年 LINEやオープンチャットを1つの班にテスト導入
→LINEは個人的なつながりを敬遠する人がおり、オープンチャットは大人数になると運用が難しかった
- 2023年 子ども会が先行して導入していたBAND (無料アプリ) に注目し、自治会でも利用開始

導入時の工夫

- ・いろいろなツールを試し、自治会活動に合うものを選択
- ・BANDの利点を活用
 1. LINEアカウントがあればインストール後すぐに始められてスムーズ
 2. 「投稿」機能でお知らせを共有し、「アルバム」機能で回覧をまとめて閲覧でき、「予定」機能でカレンダーで行事を表示できる
 3. 誰が投稿を見たのかわかり、投稿にリアクションやコメントがつけられるので、反応を見たり、質問を受けることもできる

導入の効果

- ★回覧が早く回る…班員がすべてBAND利用の場合は回覧を回す必要がなく、一部でもBAND利用者がいれば、その分回覧が回るのが早い
- ★急な連絡がスムーズ…一斉清掃の雨天中止など急な連絡に対応できる
- ★コミュニケーションを効率化…会議予定の共有や出欠の確認がアプリ上で出来る。リアクションやコメント機能があるので、会員が意見を届けやすい

今後の課題

- ・アプリの導入が難しい人への対応
- ・現在は会長が管理者として運用しているが、今後担当者の育成が必要

小久保1・3丁目自治会回覧板

一部公開・リーダー 2-3班 会長

137 メンバー

招待

午前 0:00 ~ 午前 7:00 の間、通知は受信されません。

ホーム 投稿 予定 アルバム

新しい順

全投稿

お知らせ



2-3班 会長

自治会長

2025年12月15日 20:10

【12月15日回覧分】

- ①鳥羽っ子の庭12月号
- ②任期付職員等の募集
- ③初めての方のスマホ教室 (2枚)
- ④まなびのたより (2枚)

2025年 11月

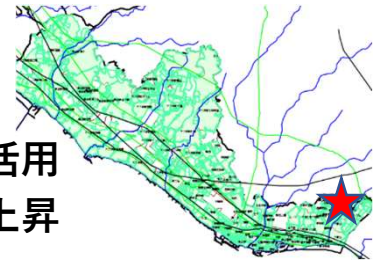


05 朝霧台自治会

校区／朝霧 加入世帯数／230世帯 回覧班／19班



回覧のほか防災や防犯、環境の取り組みにも活用
個別訪問や積極的情報発信で自治会加入率も上昇



利用媒体

LINE公式アカウント、LINEオープンチャット

導入時期

2023年2月ごろ

導入のきっかけ

東播磨県民局が主催したLINE回覧講習会へ参加

デジタル化している主な業務

- 役員間の連絡
- 会員への連絡
- 回覧
- 会議議事録等のオンライン公開、共有
- 地域のイベント情報の共有等
- ごみや清掃、資源回収など環境に関する情報の共有等
- 防災・防犯に関する情報の共有等

導入の流れ

- 2023年 **LINE回覧チーム**結成
住民アンケート（スマホ所持率やLINE利用率を調査）
→LINE利用者のうち**80%登録を目標**に設定
- 2024年 公式LINE（オープンチャット）開設
第1回住民説明会開催（その後、定期的に開催）
運用ポリシー作成、回覧や議事録公開などの運用開始
- 2025年 LINEを活用した防災訓練実施（リアクションで安否確認）
- 2026年 自治会加入230世帯（自治会加入率86%）
LINE回覧参加173世帯

導入時の工夫

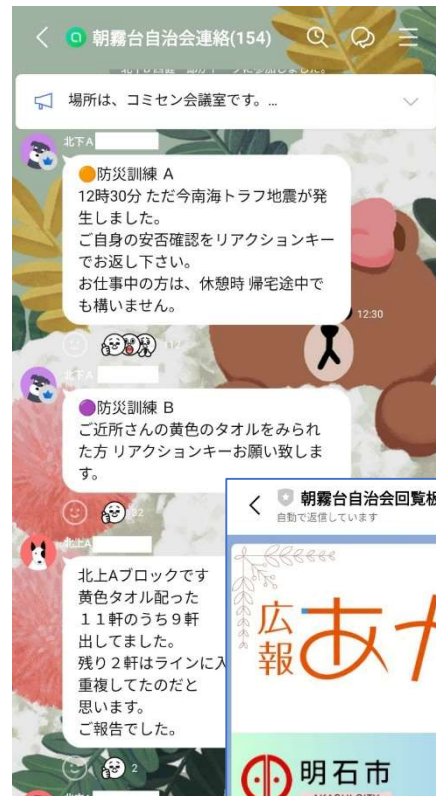
- ・**総会で決議**してから事業として進める
- ・**運用ポリシーを設定**し、ルールを徹底
（誹謗中傷しない／自己紹介不要／スタンプ不可等）
- ・**個別訪問で登録を呼びかけ**
ヒアリングを行い、興味がある家庭を個別訪問→登録率がアップ
- ・**情報格差を作らない！**
紙回覧の人にもLINE内容をまとめた印刷物を回覧

導入の効果

- ★LINE回覧が**加入促進、脱退防止**に！自治会再加入の実績もあり
- ★**防犯対策**に効果あり…訪問販売や特殊詐欺の情報をすぐに共有
- ★**防災意識**の高まり…LINE未利用者にも事前に安否確認用の黄色いタオルを配布するなど地域の一体感を重要視
- ★その他効果多数…路上で倒れた高齢者を連携して救助、救急車を呼ぶ
ごみステーションに放置された違法ごみの回収を呼びかけ 等

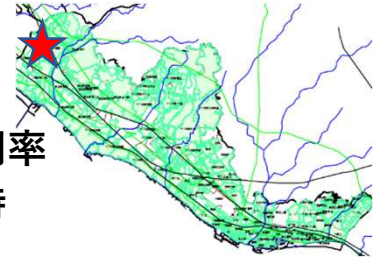
今後の課題

- ・経費…メッセージ送信数が増えれば、LINE公式アカウントは費用が発生する
- ・市回覧以外の情報のペーパーレス化…まちづくり協議会や市以外の回覧は紙媒体のためすべてをデジタル化することが難しい



06 ウェブページ明石自治会

校区／二見北 加入世帯数／527世帯 回覧班／48班



担当役員の積極的で丁寧な導入促進で高い利用率
行事開催中の告知や災害時の安否確認にも期待

利用媒体

LINEオープンチャット

導入時期

2026年2月

導入の目的（きっかけ）

役員の負担軽減と防災について課題を感じていた役員が
電子回覧の新聞記事を見て調査開始

デジタル化している業務

- 役員間の連絡
- 会員への連絡
- 回覧
- 地域のイベント情報の共有等
- ごみや清掃、資源回収など環境に関する情報の共有等
- 防災・防犯に関する情報の共有等

導入の流れ

2025年 役員が電子回覧に関する新聞記事を見つけ、役員会に提案
記事に掲載された自治会へ聞き取りを行うなど調査
→LINEオープンチャットが利用に適していると考え、実験的に
役員で利用開始。調査および実験結果を役員会で報告
2026年 1月 導入スケジュール作成、運用ルールを役員会で承認
2月 導入開始

導入時の工夫

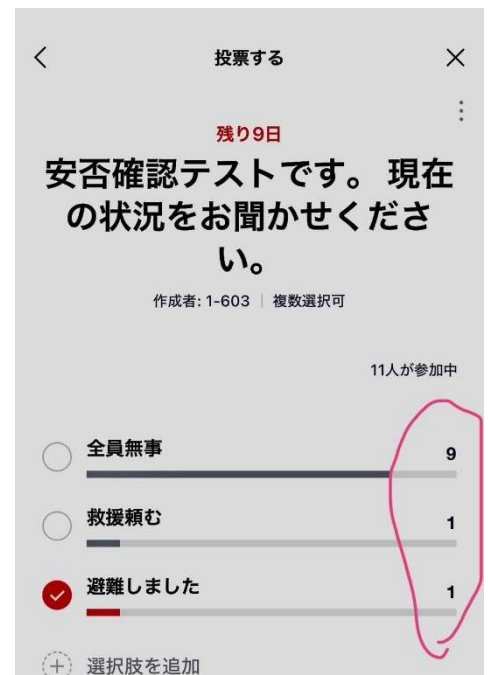
- ・導入にあたり、調査・実験・導入スケジュール・運用ルールなど、
段階的に自治会で丁寧に意思決定を行い、同意を得て進めた
- ・広報紙で周知する際に、LINEオープンチャットの安心ポイント
(グループLINEとの違いなど)を明示
- ・各戸へのフォローアップを担当してもらうため、班長向けに事前学習
会を複数回開催。具体的な導入例や利用手順などを分かり
やすく伝えるため、画面の画像を盛り込んだ資料を作成
- ・普及のために、各班長が各戸を訪問しサポートを実施。参加
しない世帯については理由をアンケートで確認

導入の効果

- ★積極的な導入促進で、自治会内利用率70%（2026年4月現在）
- ★投票機能を使つての安否確認や意思決定を行うことができる
- ★離れた家族も1名まで登録可能。離れた家族が地域の様子を知ることができ、必要であれば連絡が取れる
- ★イベントの雨天中止の当日案内や、イベント開催中の盛り上げにも利用予定

今後の課題

- ・運用ルールの周知徹底（ルールで定めているアカウント（ニックネーム）名のつけ方を間違った場合への対応など）
- ・役員は1年交代のため、毎年新役員へ役割を引き継いでいく必要性あり
- ・日常的にはペーパーレス化の推進
- ・非常時の活用方法の周知と定着



【テスト】

自治会員の皆さまへ
本日の防災訓練は、雨模様のため「中止」とさせていただきます。
午後からの「防災フェスタ」は予定通り実施いたしますので、ご参加よろしくお祈いします。

【テスト】

自治会員の皆さまへ
防災フェスタの「ガラガラ抽選会」残り時間あと30分となりましたが、まだ豪華景品が残っています。まだの方は、今すぐ集会所へ抽選しにお越しください。

07 立石2丁目自治会

校区／林 加入世帯数／122世帯 回覧班／9班



費用をかけずに手軽に利用を開始
スマホで回覧を確認でき、回覧の手間を解消



利用媒体

LINEオープンチャット

導入時期

2024年12月

導入の目的（きっかけ）

役員会での提案

デジタル化している業務

- 会員への連絡
- 回覧
- 会議議事録等のオンライン公開、共有
- ごみや清掃、資源回収など環境に関する情報の共有等

導入の目的（きっかけ）

- ・2024年当時の役員会の中で、デジタル化の議題を出したところ、**導入賛成の意見**が多かった
- ・**紙を使わない手軽さと、紙を削減**できることで環境にも優しいことなどもあり導入決定した

導入時の工夫

- ・デジタル化導入のお知らせと、オープンチャット入会の二次元コードを作成して回覧板で回した
- ・同一の名前で入会できないため世帯が同じ方は**名前の後ろにA.B**などで分けてもらう必要があり、運用ルールを作成した

導入の効果

- ★**回覧作業の負担減**…回覧を回す手間がなく、楽になった
- ★**一斉連絡ができる**…自治会内で周知したい出来事があったときに、一斉に連絡ができる

今後の課題



- ・現在の自治会員の利用率が60～70%なので、より稼働率をあげていきたい
- ・ご年配の方などスマホの操作に慣れていない方の入会には難しさを感じた



06 デジタル化お役立ち情報

スマホ操作やインターネットに不慣れな方でも安心して取り組めるよう、分かりやすい公的な教材や動画、安心・安全に使うための情報をまとめました。自治会活動で「ちょっとデジタルを使ってみようかな」という時に、気軽に役立てていただける情報です。



名称	内容	担当
初めてのスマホ教室	LINEの基本的な操作や二次元コードからホームページを開く方法など、スマホの基本操作を気軽に学べる「初めての方のスマホ教室」を年に数回開催。 事前予約制、定員あり。開催情報は広報あかしや明石市ホームページに掲載します。	明石市 デジタル推進課 078-918-5741
ICTリテラシー向上に向けた取組 教材マップ～まなびパレット～	ネット・SNSを使うときの不安や疑問を解消するために役立つ、参画団体・企業や関係省庁による、各種オンライン教材を紹介する総務省公式サイト。 【リンク先】 https://www.soumu.go.jp/dpa/efforts/mapping/	総務省公式サイト 
国民のためのサイバーセキュリティサイト	ウイルス対策、パスワード管理、詐欺メール対策など、日常生活で必要なセキュリティ知識をわかりやすく解説。 【リンク先】 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/kokumin/index.html	総務省公式サイト 

自治会・町内会ガイドブック

自治会・町内会の運営に携わる方々に役立てていただくことを目的に、明石市連合まちづくり協議会と市、明石コミュニティ創造協会で作成し、毎年自治会長へ送付し、ホームページでも公開しております。

デジタル化以外の活動の事例紹介や運営のヒントも掲載していますので、是非ご参考ください。



編集・発行

明石市市民生活局市民協働推進室コミュニティ・生涯学習課

TEL : 078-918-5004

Eメール : communit@city.akashi.lg.jp

令和8年（2026年）6月発行